令和８年度第５回むかわ町子ども化石くらぶ(ハドロキッズチーム)開催報告

開催日:令和8年9月27日(日)
実施場所:穂別町民センター

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センターの田中源吾教授をお呼びして、微化石(有孔虫や介形虫などを含む 1 mm よりも小さな生き物の化石)に関する実習と講演を行っていただきました。田中源吾教授は 2025 年度に西村智弘学芸員との共同研究でむかわ町穂別地域の白亜紀の地層から複数の新種介形虫を報告された方です(ホッピーだより No.496 https://www.town.mukawa.lg.jp/secure/3641/Hoppy_Letter_496LQ.pdf)。

穂別恐竜博物館(旧穂別博物館)での微化石の実習・取り出しは今回が初めてでしたので、小学生がうまく取り出せるかはわからない中で始めました。

【5・6 年生の部】

9 名の会員児童が参加しました。前半の実習は田中教授と西村学芸員によって進めました。最初に田中教授から微化石の説明をしていただきました。次に西村学芸員により、穂別地域で発見されている微化石の紹介と微化石を取り出すための岩石処理法を紹介しました。



講師の田中源吾教授



会場の様子。正面の左右に実習で使用する顕微鏡と、顕微鏡の画面を拡大するモニターを設置して、実習を行いました（写真右）。

実習では現在の鵡川海岸の砂の中から有孔虫や介形虫を探し出して、取り出す作業を行いました。拾い出しは、シャーレ―に撒いた砂の中から顕微鏡下で有孔虫などを探し、竹串などで拾いました。拾った有孔虫などは、手作りの微化石ホールに入れて持ち帰る形にしました。中高生ボランティア6名と小学 5・6 年生9名がそれぞれ1個体の有孔虫を取り出して、実習の時間が終了となりました。



有孔虫などを探しているところ。写真右の画面上あたりに有孔虫（右写真の⇒）が見られます。



有孔虫などの拾い出しの様子



拾い出した有孔虫(写真左の⇒)と顕微鏡で拡大したもの(写真右)。約 0.5 mmほどのもの。

実習時間が長引いてしまったため、田中教授の講演は 40 分ほどに短縮し、これまで研究してこられた古生代の例外的に保存のいい化石についてのお話などをしていただきました。



田中教授の講演



5･6 年生の集合写真

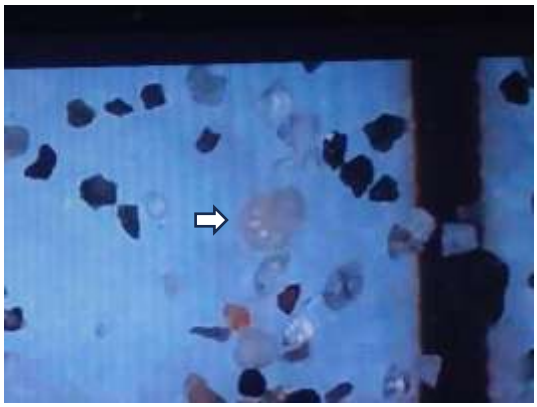
【3･4 年生の部】

11 名の会員児童が参加しました。午前中と同じように実習を進めました。実習では午後のみ参加された中高生ボランティア1名と 3･4 年生会員 11 名が有孔虫などの拾い出しを行いました。竹串での拾い出しは、3･4年生には少し難しかったかもしれませんでしたが、何とか全員が1個体をもち帰れるようになりました。また、介形虫と放散虫(ほうさんちゅう)が1個体ずつ確認されました。



会場の様子



見つかる有孔虫などの説明と、砂の中から有孔虫などを探す作業の説明。下写真の⇒が見つけた有孔虫






実習の様子

最後に 40 分間ほど田中教授に講演をしていただきました。



田中教授の講演



3･4 年生の集合写真

9 月 27 日の活動では、博物館ボランティア 2 名、中高生ボランティア 7 名の方々にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別恐竜博物館　学芸員　西村智弘
主事　桝本美晴